

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス・児童発達支援ピースサイン			
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日 ～ 2025年 12月 29日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数)	29
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日 ～ 2025年 12月 29日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人一人の課題に合わせて職員全体で達成に向けた取り組みをしている。	職員間でトレーニングの様子やフィードバックの内容共有に努めている。 毎朝のミーティングを通じて些細なことまで情報を共有している。 支援方法の進め方が統一されている。	特性に対する研修を取り入れ職員の知識を高めていく。 より専門的な知識や技術を高め一人一人に合ったトレーニングや保護者支援を行っていく。
2	保護者様との円滑なコミュニケーションが取れるように努め、支援につなげている。 利用時に必要な場合や、希望があった際には保護者様との面談や相談をする時間を作るようにしている。	フィードバックを通じて定期的に利用者からの要望・意見を聞く機会を設けている。	
3	管理者を通じて関係機関との連携に力を入れ、職員全体で情報の認識をしている。	利用児・保護者が安心して利用できるよう配慮・工夫をしている。（教室内の設備や物の移動・環境整備・ZOOMの活用など） LINEなどのSNSを利用して保護者とのやり取りを充実させている。 トレーニング風景をLINE動画で送っている。	

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	一人一人の業務の分担や時間配分を確認していく。 職員の業務を互いに把握し協力し合う。	業務量や利用者の人数が増えたことにより情報の確認や状況把握が難しくなってきた。	職員全体で工夫をしながら情報の確認や状況把握の時間を作っていく。
2	トレーニングの動画の送信や療育記録の記入漏れの無いよう時間配分を調整し、注意していく。	作業時間が確保できておらず、空いた時間を工夫して取り組んでいるので、時間を決めるなどシステム化していく。	
3			